

【取扱い上の注意】

- 杖・歩行補助具・椅子の代わりとして使用することは危険ですのでおやめください。転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子様の遊び用具として使用しないでください。
- ベットの真ん中に入れてください。
- 不安定な場所には保管しないでください。
- 棚などの高い所に置く場合は、落下しないよう十分ご注意ください。落下したソフトキャリーが衝突し、重大な人身事故につながるおそれがあります。
- キャスター走行時は周囲の人や物に注意してください。
- 持ち上げる際は、必ずバッグ本体のハンドルをお持ちください。
- 段差や階段のある場所での無理なキャスターのご使用は危険です。破損や転倒のおそれがありますので、バッグ本体のハンドルを持ってご使用ください。
- お子様がソフトキャリーを使用する際は、事前に保護者の方が本書を必ず全て読み、使用上の注意事項をお子様によく指導してください。
- ソフトキャリーを梱包している袋などをかぶらないでください。
- ファスナーの開閉時に手や衣類をはさまないようにご注意ください。
- 荷物を入れる際には、ファスナーが最後まで開いていることを確認してください。ファスナーが最後まで開いていない状態で本体を開くと、ファスナーが破損するおそれがあります。(製品によってはファスナーがついていないモデルもあります。)
- 走行直後のキャスターにふれないでください。摩擦熱により、やけどするおそれがあります。
- 破損、汚れの原因となるおそれのあるガラス瓶やその他の容器類の収納時には、割れたり中身が漏れないように十分ご注意ください。
- 火の近くや高温になるところには置かないでください。
- ソフトキャリーは防水ではありません。雨水などがしみ込むおそれがあります。
- 鋭利な形状の物と接触しないようご注意ください。
- 現金や貴重品の保管には使用しないでください。
- 本製品は中に入れる機器を衝撃によるキズや破損から完全に保護するものではありません。ご使用の機器本体の損傷、破損、故障、紛失及びデータの破損、消滅などについては一切責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本製品が破損した場合は、使用を中止してください。
- 分解や、改造はしないでください。
- ソフトキャリー内部には、引き手のついていないファスナー部分があります。これは芯材を入れるためのものであり、ポケットとして使用することはできません。(製品によってはついていないモデルもあります。)
- ソフトキャリーの耐久性は使用回数や経過年数も影響しますが、使用中に受ける衝撃など取扱いの状態に特に大きく左右されます。

【ソフトキャリーの安全マナー】



- 周囲、特に自分の後方に気を配り、他の歩行者の安全に気をつけて行動してください。
- ソフトキャリーはできるだけ体に近づけるようにしてください。体の横で横向きの四輪走行を心がけてください。
- 急に立ち止まったり、急な方向転換をすることは事故に繋がりますので、十分ご注意ください。
- 携帯電話を見ながら歩くと、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。十分ご注意ください。
- 旅行先などで、集団で道幅いっぱいに並んで歩くことは、周囲の通行の妨げになりますのでおやめください。



- エスカレーターでは自分の前(上り)・自分の後(下り)にソフトキャリーを置き、ハンドルから手を離さないようにしてください。ソフトキャリーの落下は、重大な人身事故につながるおそれがあります。また、エスカレーターのベルトをしっかり握り、自身が転倒などしないようご注意ください。



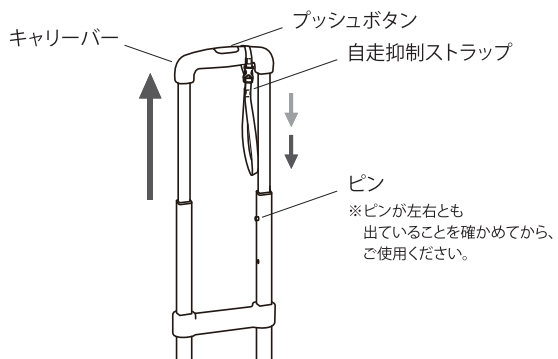
- キャリーバーを引っ張って階段などを昇り降りしないでください。

【キャリーバーと自走抑制ストラップのご使用方法】

キャリーバーの長さを調整するときは、プッシュボタンを押しながら一度バーを最長状態まで引き出し、下げながら長さを調節してください。

本製品にはストッパー機能がありません。

電車やバスにお乗りの際には、自走抑制ストラップを手首に通しておくことをおすすめします。



【キャリーバー取扱い上の注意】

- キャリーバーに体重を掛けると、転倒する危険性がありますのでおやめください。
- キャリーバーのハンドルは、走行用のハンドルです。このハンドルでソフトキャリーを持ち上げないでください。破損の原因になります。ソフトキャリーを持ち上げる際は、必ずバッグ本体のハンドルをご使用ください。
- キャリーバーを上げ下げする際は、パイプの連結部分や本体との間に指などを挟まないようご注意ください。
- キャリーバーには多少のあそびがありますが、これはハンドルの動きをスムーズにするためのものです。
- キャリーバーを下方向に力を加えながら左右に揺らすとピンが戻ってハンドルが下がってしまう場合がありますのでご注意ください。

- キャスターは使用頻度や路面の状況により摩耗の度合いが異なります。また素材の特性上、経年劣化は避けられません。
- キャスター等の樹脂製部品は、直射日光や使用・保管状況により色あせや劣化が生じることがあります。
- 過度な衝撃や負荷が加わった場合、変形や破損を生じることがあります。
- 荷物の詰め込みすぎは破損につながるおそれがあります。
- 荷物はなるべく均等に詰めてください。極端な荷重の偏りによって本体やパーツに過度な負荷がかかり破損するおそれがあります。
- 破棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。

【お手入れ】

- 風通しの良いところで保管してください。ビニール袋やダンボール箱に入れた状態での保管はキャスター等樹脂製部品の劣化を早めるおそれがあります。
- 直射日光、雨、雪、高温多湿の環境を避けて保管してください。
- 蛍光灯に近い場所を避けて保管してください。
- 強い酸性や塩分、極端に高い温度にさらされる場所での保管や長時間の使用は避けてください。素材を傷めるおそれがあります。
- 普段のお手入れは水拭きした後十分乾燥させて保管してください。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤、酸やアルカリ性の洗剤などは使用しないでください。
- たわし・みがき粉でみがくとキズがつくことがありますので避けてください。
- 水に濡れた場合はよく乾燥させてから保管してください。
- キャスターに付着した砂やホコリ、糸くずは故障の原因となりますので取り除いてください。
- 購入直後に、においが気になる場合は陰干しをしてください。またご使用されている間に、においは自然に薄くなります。

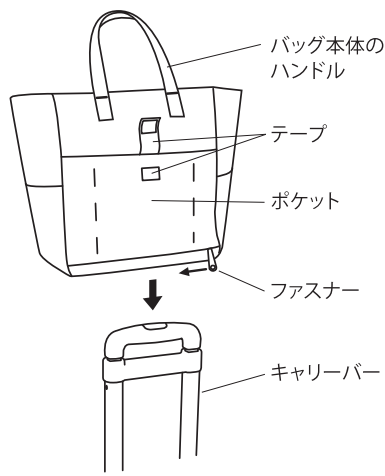


- 移動している車両の中や坂道では、ソフトキャリーが不意に動く可能性があります。事故の原因となりがちですので、手を離さないようご注意ください。
- 車内でソフトキャリーを置く場合は、振動で動いたり倒れたりしないように端に寄せる、寝かせて置くなど、置き方に配慮してください。

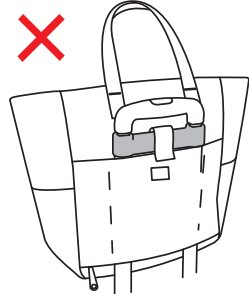


- 荷物を入れると想像以上に重くなります。網棚に載せる場合、上げ下ろしの際には、他のお客様に配慮し、十分ご注意ください。
- 網棚など高所からソフトキャリーが落下した場合、ケガをしたり、ソフトキャリー自体の破損、または内容物の損傷につながります。ソフトキャリーの置き方には十分ご注意ください。

【トート型ソフトキャリー取り付け方法】



- ① バッグ背面のテープを外し、ファスナーを開ける。
 - ② ポケットにキャリーバーを通す。
 - ③ テープを留める。
(テープを留めることでバッグ本体のハンドルを持って移動する際、キャリーも一緒に持ち運べるようになります。)
- ※バッグを取り外す場合は、逆の手順で行ってください。



※テープを留める位置にご確認ください。